

<第4506回>

目的地：高野三山

担当者：光崎

実施日：2024年7月14日(日)

形式：日帰りハイキング

費用：高野山世界遺産キップ（通常¥3,540・デジタル¥3,140：南海難波駅起点）

参加者：6名

天気：曇り時々晴

行程：

南海高野山駅(9:16)発⇒(バス)⇒奥の院前バス停(9:45)→(10:30)摩尼峠(10:35)→(10:50)摩尼山(11:00)→(11:40)揚柳山[昼食](12:00)→(12:30)子継(粉撞)峠(12:35)→(12:56)車道分岐→(13:10)転軸山(13:20)→(13:45)奥の院参道[解散]

感想：

梅雨の末期ということもあり、前日夕方まで当日の降水確率の予報にやきもきしました。

不安定な天気予報のためか、行きの車中や高野山駅も思いのほか人が少なく、集合とバスへの乗り換えもスムーズでした。

奥の院バス停前の「中の橋駐車場」で事前準備と自己紹介を済ませて奥の院への参道を進み、途中で標示に従って右折して、摩尼峠を目指します。峠の手前辺りから勾配がきつくなり、摩尼峠からはひと登りで木立に囲まれ祠のある摩尼山に到着です。汗はかきますが、気温は涼しく、時折吹く風が心地よかったです。摩尼山からは一旦高度を下げて、再び揚柳山へ向けて登り返します。木立に囲まれ祠がある揚柳山頂には正午前に着きましたが、午後から一時雨が降るとの予報もあったので、早めのお弁当タイムとしました。揚柳山から子継(粉撞)峠までは下降して、峠から車道分岐までほぼ平坦な道を進み、車道から転軸山に登り返します。転軸山の山頂にも祠がありますが、狭くて見通しは良くないです。当初の予定では、転軸山から弘法大師祖廟方面に下りる予定でしたが、案内表示板に×印が書いてあったので、女人堂方面に下山することとしました。山道から車道に出て少し行くと「中の橋霊園」があり、その中を横切って奥の院への参道に合流、解散としました。

曇り空でしたが結局雨は降らず、涼しくて登山者も少ない静かな山行でした。

三山を巡る女人道とはいえ、急登下降のある比較的歩きごたえのあるルートです。

不安定な天気の中、参加いただいた皆様、ありがとうございました。